

東海

2023年度 第1号

 東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2023年4月29日

発行 東海大学山形高等学校

編集 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西 3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <https://www.ymgt-tokai.ed.jp>

春の訪れ

校長 岡田 恵子

例年になく早さで桜が開花し、新入生は満開の桜に迎えられ新年度がスタートしました。季節の移り変わりのスピードに驚きながら、学校も新たな1年生と共に、こちらもたくさんの行事がどんどん進んでいます。

この3月に卒業した生徒達は、中学卒業を目前に新型コロナウイルス感染症のため休校になり、高校の入学式も延期になった学年で、まさにコロナ禍の直撃を受けた高校生活でした。それでも制限の中でできることを求め、次善の策を探る力をつけて行った頼もしい生徒達でした。思い返してみれば幼稚園や保育園の卒園が震災の年で、幼かったこども達とはともかく、保護者の皆様には節目、節目で単純には喜びきれない思いを持たれた子育てだったことでしょう。この春、澁澁とした表情で母校を後にした一人ひとりの表情を思い出すにつけ、成長に目を見張るとともに安堵の思いが重なります。

さて、この春から感染症の分類が改められ、学校での生活にも普通の日々が戻ることになりました。そういう意味でもこの春は、希望と明るさに満ちた季節となりました。新1年生はすでに新しいクラスメイト達と2日間をともに過ごす東海大学への研修旅行を終え、しっかりと根を張り始めています。2年生は修学旅行を前に平和への学びを深めつつあり、3年生は目の前に横たわる進路選択へ向けて準備を進めながら、高校生活のまとめに取り掛かっています。高等学校は、自分の未来像を描いてその実現を目指す場です。それぞれの時期に向き合うべきことをサポートしつつ、同時に、未来の社会を委ねる若者達を育む場であることを心に刻み、生徒達と共に歩んでゆきたいと思います。

一方、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵略は続いたまま1年を超えてしまいました。ミサイルで

日常生活どころか生命すら脅かされる場で、同じ年代の高校生の日々はどうなのだろうと思うと、日常がいかに大切なものであるかを痛感させられます。コロナ禍が下火になり私たちに日常が戻っても、世界で起きていることにも心を向け続けなければなりません。昨年度の生徒会執行部が教室の青いプレートに貼った黄色いテープはそのままです。先輩たちの思いを引き継いで、どのように発展させていくのかが今後の生徒会活動に望まれます。“Stand with Ukraine ウクライナとともに”の意思表示は侵略の停止、復興まで続くことになるかもしれません。一日も早く世界に“春”が訪れることを願わずにはいられません。



第46回 入学式

4 月 7 日（金）に、第 46 回入学式を本校の第 1 体育館で行いました。

真新しい制服に身を包んだ 289 名の新入生は、各担任から名前を呼ばれると、それぞれ元気な返事で応え、岡田恵子校長から入学を許可されました。また、新入生代表の廣野悠さんから、新しく始まる本校での生活に向け、希望に溢れた「誓いのことば」が力強く述べられました。

コロナ禍における配慮から、保護者の方はクラス開きへの参加はできませんでしたが、本校の仲間入りを果たした新入生たちは、これから始まる学園生活への気持ちを新たにしました。



ご入学おめでとうございます

第 1 学年主任 坂本 雅則

ご入学、誠にありがとうございます。今年は例年になく雪解けが早く、学校周辺の桜も満開です。4 月 7 日温かな春の陽気に包まれて、289 名の新入生が「東海生」としての第一歩を踏み出しました。皆さんの門出を 1 学年担任団一同、心からお祝い申し上げます。

高校は社会に出る最後の教育機関ともいわれます。心身ともに社会人（大人）に向けて大きく成長する時期です。この学び舎で出会う多くの友との縁を大切に、勉強や部活動、それぞれの目標達成に向けて互いに切磋琢磨しながらお互い高め合ってほしいと思います。新入生の高校 3 年間は 1095 日と決まっていますが、誰にでも平等にその時が流れます。日々の成長は感じ取れるほど大きいものでないかもしれませんが、大人になって高校時代の自分を振り返った時、自分の努力と成長を誉めてあげられるような充実した 3 年間であってほしいと願います。

入学して早々ではありましたが、4 月 17 日～20 日、学年を二つに分けて東海大学への研修旅行に行ってきました。「現代文明論を学ぶ意義」「東海大学の創設者と建学の精神」について学ぶことができ、広大なキャンパスを見学する中で、東海大学という大きな教育システムの一員となったことを自覚できたのではないかと思います。

「失敗と書いて成長と読む」これは野村克也さんの言葉です。私たちはチャレンジするからこそ失敗という経験を得ます。そしてその失敗こそが私たちの成長の糧となります。その意味では取り返しのでない失敗ならむしろ歓迎です。素敵な大人へ向けて、また夢や目標に向けて、チャレンジし続けることができるよう私たちも学年団として応援していくつもりです。



新年度を迎えて 2 年生スタート

第 2 学年主任 小原 英通

2023 年度より学年主任が「五十嵐」から「小原（旧 1 年 7 組 担任）」に代わり、新 2 年生 294 名と共に新たなスタートをきることになりました。生徒諸君はクラス替えが行われ、新たな縁があつて同じときに、同じ学び舎で共に生活することになった仲間を確認し、この仲間と切磋琢磨しながら将来の夢を叶えましょう。

2 年次の目標として学習面は、授業、自主学習の取り組みを個々に工夫し成績を向上させ、自分の進路を自分で切り拓いてもらいたい。生活面は、ルール『規則』、マナー『礼儀』、モラル『日常の善悪』、エチケット『周囲への心配り』をしっかりと把握し、規律正しい生活を送ってほしい。進路面は、自分の将来についてしっかりと考え、そのために必要な情報を収集し、進路目標を定めてほしい。

高校生は困知勉行が大切で、ひたむきに何事にも努力し、自分の生きる道を切り拓くべきです。一日一日のわずかな差が、人生にとって大きな差になります。時間を大切に日々を過ごしてください。



2022 年度 年間皆勤賞 (旧学年・クラスで紹介)

前年度の年間皆勤賞は、旧 2 学年 4 6 名、旧 1 学年 5 3 名が受賞しました。

【旧 2 学年】4 6 名

角田 菜々 (2-1 山形六中)	服部 楓菜 (2-1 中山中)	松浦 実咲 (2-1 宮内中)	鷲 イリア (2-1 山形七中)	須藤 大晴 (2-1 山形三中)
関岡 祐賢 (2-1 山形一中)	吉田 航大 (2-1 上山南中)	川口 恵奈 (2-2 山形十中)	高橋 和 (2-2 山形十中)	永瀬 愛莉 (2-2 山形五中)
西田 桃花 (2-2 山形十中)	布施菜奈美 (2-2 山形七中)	小坂 翔真 (2-2 山形九中)	小林 健琉 (2-2 山形四中)	高橋 一真 (2-2 河北中)
樋口 史季 (2-2 白鷹中)	山田 琉偉 (2-2 山形三中)	五十嵐心暖 (2-3 金井中)	江部 葵 (2-3 米沢四中)	長橋 百音 (2-3 蔵王一中)
榎 立夏子 (2-3 上山南中)	岡崎 竜也 (2-3 蔵王一中)	佐野 寛亮 (2-3 赤湯中)	高梨美成飛 (2-3 高畠中)	高橋 惺太 (2-3 山形九中)
團野 朔真 (2-3 篠山中)	山家 翔 (2-3 川西中)	渡邊 旦 (2-3 山形四中)	伊藤 柚葵 (2-4 天童二中)	柴田 向生 (2-4 山形十中)
加藤 美優 (2-5 米沢三中)	横山 詩乃 (2-5 山形四中)	辻 陽人 (2-5 天童二中)	野川 凌平 (2-5 天童一中)	稲垣 彩乃 (2-6 山形十中)
狩野 詩 (2-6 山形四中)	石川 尚 (2-6 西川中)	蛭田 颯詩 (2-6 矢吹中)	芦野 志帆 (2-7 山形四中)	菅野 瑠菜 (2-7 尾花沢中)
佐藤 公飛 (2-7 山形九中)	半田 悠翔 (2-7 山形九中)	佐藤穂の花 (2-8 山形九中)	佐野 るな (2-8 蔵王一中)	高橋 遥斗 (2-8 樋岡中)
辻 ひかる (2-8 上山北中)				

【旧 1 学年】5 3 名

鏡 桃音 (1-1 上山北中)	川田 芽依 (1-1 天童一中)	木村 莉菜 (1-1 上山南中)	割野 花音 (1-1 山形六中)	黒柳 大樹 (1-1 蔵王一中)
赤木 天舞 (1-2 天童二中)	近野 碧良 (1-2 沖郷中)	高橋 昊 (1-2 蔵王一中)	岡崎もとか (1-3 神町中)	庄司 凜 (1-3 山形六中)
山口 芽依 (1-3 宮内中)	安達 慶証 (1-3 山形九中)	伊藤 正祥 (1-3 山形九中)	渋谷 真和 (1-3 山形三中)	松田 汐夏 (1-3 山形九中)
伊藤 翔太 (1-4 山形一中)	小野 優人 (1-4 山形六中)	熊谷 侑馬 (1-4 山形四中)	高橋 煌輝 (1-4 七郷中)	武田 祥吾 (1-4 天童四中)
新国 大輝 (1-4 宮内中)	森山 空海 (1-4 宮内中)	横尾 亮太 (1-4 上山南中)	伊藤 愛莉 (1-5 赤湯中)	藤巻 千咲 (1-5 高畠中)
三上 紗和 (1-5 山形六中)	河井 仁輝 (1-5 山大附中)	後藤 健太 (1-5 神町中)	佐藤小次郎 (1-5 真室川中)	中村 陽紀 (1-5 山形三中)
松野 悠也 (1-5 中央台南中)	小嶋 春加 (1-6 上山南中)	矢口 美姫 (1-6 山形五中)	岡本隼之介 (1-6 小手指中)	澤田 愛斗 (1-6 山形六中)
青木 桜 (1-7 中山中)	浅黄 暖佳 (1-7 陵東中)	五十嵐らる (1-7 上山北中)	今井 美咲 (1-7 上山北中)	梅津 花 (1-7 山辺中)
早坂 紀香 (1-7 山形十中)	遠藤維大里 (1-7 山形四中)	三本松聖大 (1-7 清風中)	真下空鈴夢 (1-7 山形三中)	森田 大稀 (1-7 山南中)
矢ノ目千桜 (1-8 葉山中)	秋葉 悠寿 (1-8 上山南中)	安食 春平 (1-8 山形七中)	黒坂 悠大 (1-8 舟形中)	清野 蒼翔 (1-8 天童一中)
仲野 志映 (1-8 河北中)	羽島 玖恋 (1-8 山形十中)	淀川 奏 (1-8 山形九中)		

小児がん患者支援プロジェクト 「レモネードスタンド」始動

山形県内で活動する高校生のボランティアサークル「nico こえ」が、小児がん治療への支援を目的とした「山形レモネードスタンドプロジェクト」を始動させました。このプロジェクトは、レモネードを作って販売し、1 杯あるいは 1 本当たり約 70 円の支援金を得て、小児がんの治療に充ててもらうために寄付していくものです。

そして、この企画のリーダーを務めるのが本校 2 年生の平田寧々さん（沖郷中出身）です。平田さんは、小学校 3 年生の時に小児がんを患った経験があり、「小児がんについてもっと研究が進めば、苦しむ子どもたちを一人でも減らすことができるのではないかなと思う。」と語り、「お金の支援だけでなく、小児がんについて理解してもらうことで、広がる心の支援も行っていきたい。」と意気込んでいました。

このサークルでは、4 月から県内各地でプロジェクトを本格始動させ、12 月には県内の小児がん患者に支援金を渡す予定です。



高校最終学年を迎えて

第 3 学年主任 中村 典子

2023 年度がスタートしました。高校生活最後の年、気持ちを新たにしていることと思います。

さて、「高校3年生」というのはどのような年なのでしょう。今年、皆さんは 18 歳となり「成人」とみなされます。昨年 4 月 1 日から成人年齢が 20 歳から 18 歳に変わりました。選挙権が与えられ、さっそく今月の統一地方選挙で「一票」を投じた人もいることでしょう。就職すれば税金を納める義務を負います。まだ、あまり実感がわかないかもしれませんが、18 歳になるということは、もう社会に出て恥ずかしくない考え方や行動ができるべき年齢なのです。

しかし、私自身の高校時代までを振り返ってみると、18 歳の誕生日を迎えたときに「今日から大人だ」と言われても、「こんな大人でいいの？」と思ったに違いありません。異なる年齢層の人と関わることはそれほど多くあったわけでもなく、困難なことに遭ったときは、親や身近にいる人たちに頻繁に助け舟を出してもらい、守られていました。それだけ社会的な体験が少なかったのです。今、みなさんが置かれている環境や社会も、大人になれる機会がまだまだ少ないように思います。それでも、必ず社会へ出て行く日がやってきます。

人は一生ずっと成長し続けるもので、ある年齢になるとそれで成長が終わるということではありません。だから、まだまだ大人になっていないと思っている人も、これから大人になれる資質を作っていけばよいのです。

皆さんにとって、今年は子どもから大人になる画期的な年です。ぜひ、この一年をみなさん一人ひとりにとって意義のある年にしたいと願っています。



新任教員紹介

今春より本校に勤務する 6 名の教職員を紹介します。



たまやり な
玉谷里菜先生【英語】

福島県郡山市から参りました。これからよろしくお願いいたします。英語が「得意」ではなくとも「面白い!」と思えるよう、一緒に日々の授業を頑張りましょう!

私は自分の高校時代を振り返ると、いつでも「あの時は毎日楽しかったなあ」と思います。生徒の皆さんにも、色々な挑戦を通して是非そういう思い出をたくさん作ってもらいたいです。



かとうよしまさ
加藤圭将先生【国語】

今年度からお世話になります国語科の加藤圭将と申します。担当する部活動はソフトボール部・書道部です。みなさんのかけがえない高校生活を少しでも実りのあるものにできますように、その手伝いができればいいなと思っております。「生徒・東海山形のために」を念頭において精進して参ります。よろしくお願い致します。



おおすみよしふみ
大沼佳郁先生【地歴公民】

東海大学山形高校の皆さん、はじめまして! 新しく地歴公民科の教員に仲間入りした大沼佳郁です。私は大学卒業してなので、若さを活かして元気いっぱい皆さんと関わっていきたくです。趣味は博物館・美術館・お城を目指してドライブすることです。皆さんと一緒に成長できたいなと思っています。よろしくお願いいたします。



よしだひろし
吉田 洋先生【地歴公民】

生徒の皆さん、初めまして、講師の吉田洋(ひろし)です。でも、「ヨウ」先生と呼んでください。公立高校で 32 年間も教えていました。私立高校は初めてですが、皆さんと一緒に学べることをとても楽しみにしています。今年度は、1 年生の授業担当ですが、多くに皆さんと何らかの形で関わればと思っています。週に 3 回、東根市から通ってきます。春爛漫(はるらんまん)、とてもいい季節です。深呼吸をしてみましょう。



おおもとけいじ
大場恵一先生【地歴公民】

2 年生の総合進学、総合学習コースの日本史探究と 3 年生の総合学習コースの地理 A の一部を担当することになりました。

地理歴史の学習においては「なぜ?」と考えながら学ぶことが大切になってきます。身近な話題も提供しながら、少しでも興味・関心を高めてもらえるような指導を心がけて頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



やはぎまゆろ
矢萩万裕先生【保健体育】

今年度からお世話になります矢萩 万裕と申します。担当する科目は保健体育、部活動はサッカー部になります。

体育に限らず、人それぞれ得意不得意とあるかとは思いますが、成功体験をより多く積み上げられるよう、チャレンジ精神をもって何事にも取り組みましょう!

多くの生徒の皆さんと関わることを楽しみにしています!

編集 後記

入学式が無事に終わり、新年度がスタートしました。コロナウイルスによる行事、大会等の中止や入場者の制限など、規制と我慢が続きました。今年度の対面式は全校生徒を体育館に集めて行うことができました。また、PTA 総会も対面で行われます。大会での入場制限も緩和され、保護者も入場できるようになります。これまでの我慢と応援を力に変え、生徒たちが校内外で大いに活躍してくれることを期待します。